

令和7年度第2回上尾市地域公共交通活性化協議会次第

日 時 令和7年10月23日(木)
午前10時30分から
場 所 上尾公民館 503講座室

1 開 会

2 議 事

- (1) 令和8年度上尾市地域公共交通活性化協議会委員の構成について
- (2) ぐるっとくん利用者アンケートの内容について
- (3) 市民アンケートの内容について

3 報告事項

- (1) 上尾市公共交通計画の進捗報告について
- (2) 次期上尾市公共交通計画策定に伴う業者の選定について

4 その他の事項

5 閉 会

令和8年度上尾市地域公共交通活性化協議会委員の構成について

これまでの協議会構成委員について、令和 9 年度からの次期上尾市公共交通計画策定に合わせ、以下のように変更する。

■目的

これまで市民団体等から、公募による市民等代表委員の拡充について要望があったことから、他自治体の事例も参考に各構成委員数の均衡を図る。

■変更内容案

- (1) 市職員の減：こども未来部長
- (2) 市民等代表の増：公募委員の追加

■市民等代表（公募委員）募集内容

- (1) 人数：2 人
- (2) 資格：①上尾市内に在住している、又は市内に在勤・在学で市内の公共交通機関を利用している者
②令和 8 年 4 月 1 日時点で 18 歳以上の者
③原則として平日昼間に開催する協議会（年数回）に出席できる者
④令和 8 年 4 月 1 日時点において、市内の公共交通事業の職に携わっておらず、当該事業に関して利害関係にない者
⑤市民公募委員として、市のはかの審議会に 2 つ以上在籍していない者
- (3) 任期：就任した年度から 1 年度毎とし、原則として計画施策の実施期間中は継続あり
- (4) 方法：応募用紙及び応募動機やテーマに沿った 800 字程度の作文を提出

■選考方法

- (1) 選考者：協議会委員の中から 5 人程度
- (2) 方 法：提出物の査読により採点し、選考委員全員の合計点数が高い者上位 2 人。ただし、基準に満たない場合は、募集人数に達しなくとも不採用とする。

■スケジュール

- 11 月：市民委員の募集（広報あげお 11 月号掲載および H P 掲載）
- 12 月：選考
- 1 月：決定
- 2 月：協議会へ結果報告

■その他

採点結果について、公開を求められた場合は、委員名は公表しない

区分	所属
法第6条第2項 第2号委員	東武バスウエスト株式会社
	朝日自動車株式会社
	丸建つばさ交通株式会社
	株式会社協同バス
	上尾地区タクシー協議会
	一般社団法人埼玉県バス協会
	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会
	国土交通省大宮国道事務所
	埼玉県北本県土整備事務所
	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社
	埼玉新都市交通株式会社
法第6条第2項 第3号委員	上尾警察署
	上尾市自治会連合会
	上尾市いきいきクラブ連合会
	公募委員
	公募委員
	埼玉大学名誉教授
	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局
	埼玉県企画財政部交通政策課
	さいたま市都市局都市計画部交通政策課
	桶川市企画財政部企画調整課
法第6条第2項 第1号委員	上尾市行政経営部
	上尾市こども未来部
	上尾市健康福祉部
	上尾市都市整備部
	上尾市市民生活部

※区分の欄の「法」は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を指します。

上尾市地域公共交通活性化協議会公募委員選考要領(案)

1. 目的

この要領は、上尾市地域公共交通活性化協議会公募委員の選考に当たり、必要な事項を定める。

2. 募集概要

募集人数は2人とし、応募資格は以下のとおりとする。

- ①上尾市内に在住している、又は市内に在勤・在学で市内の公共交通機関を利用している者
- ②令和8年4月1日時点で18歳以上の者
- ③原則として平日昼間に開催する協議会(年数回)に出席できる者
- ④令和8年4月1日時点において、市内の公共交通事業の職に携わっておらず、当該事業に関して利害関係にない者
- ⑤市民公募委員として、市のほかの審議会に2つ以上在籍していない者

3. 選考委員会

- (1) 選考委員会は、上尾市地域公共交通活性化協議会会長、及び会長が指名した委員4人の計5人とする。
- (2) 選考委員会に委員長を置く。
- (3) 委員長は、会長をもって充てる。
- (4) 選考委員会は、必要に応じ委員長が招集する。
- (5) 選考委員会の事務は、交通防犯課において処理する。
- (6) その他必要な事項については、委員長が別に定める。

4. 審査項目

公募委員応募用紙及び作文等の記述内容のうち、次の審査項目について審査する。

- (1) 現状の把握
 - ①公共交通を取り巻く社会状況や、本市の状況。
 - ②市内の公共交通(市内循環バス、路線バス等)の現状。
- (2) 本市が将来的に進むべき公共交通のあり方の考え方
※実現性と持続性のある内容か

※費用対効果や財源、収支率も加味した内容か

- (3)これまで公共交通に関わった職歴や、研究機関等での研究履歴があればその内容
- (4)市民や利用者の視点で、本協議会に参画する意欲。
- (5)委員候補として、建設的な意見を述べているか。
- (6)委員として、責任を持って自らの意見を述べることが期待できるか。

5. 採点

- (1)審査項目ごとに5点満点で、各選考委員が以下の基準により採点する。

優良	5点	非常に優れている。経歴として高く評価できる。
良好	4点	条件以上に期待できるものがある。
普通	3点	条件は備えている。経歴として概ね評価できる。
やや劣る	2点	条件にやや劣る。
不可(不明)	0点	条件に達していない。経歴なし

- (2)各選考委員が応募者ごとに採点した各項目の点数を合計し、上位点数の者から順に選考する。ただし、平均点数が3点に満たない場合及び採点基準に「不可」の項目がある場合は、募集人数に達しない場合でも不採用とする。また、同点の場合は、委員の協議により選考する。

6. 選考結果の通知

選考の結果は応募者全員に通知するものとする。

7. その他

選考結果に対する異議申し立ては受け付けない。

8. 情報公開

応募者から採点状況の公開を求められたときは、全応募者に対する各審査委員の採点の内訳までを情報提供するものとする。ただし、応募者名はアルファベット、審査委員名は番号等で表記し、公開しないものとする。

その他の情報について求められたときは、情報公開制度に則り対応する。

ぐるっとくん利用者アンケートの内容について

1. 調査目的

○利用者属性、利用状況、満足度のほか、令和7年4月1日に実施した運行見直し（路線再編・運賃改定）に伴う利用状況の変化、今後の運行見直しに向けた要望等の調査を行う。

2. 調査時期

1月下旬～2月上旬の平日・休日 各1日（計2日間） ※調整中

3. 対象路線

上尾市市内循環バス「ぐるっとくん」の全路線とする。（平休ともに13台で運行）

4. 調査方法

平日：全便に調査員が1名乗り込み、利用者に調査票を配布

休日：上尾駅において調査員がバス停付近に待機し、乗降客に調査票を配布

5. 調査票回収方法

回収方法は郵送・WEBの併用とする。

利用者には調査票を封入した返信用封筒を配布し、回答後、封入して返信用封筒を投函する。

なお、調査票に記載のQRコードからのWEB回答も可能とする。

6. 想定配布、回収数

平日：800部配布、400部回収を想定（回収率5割）

休日：400部配布、200部回収を想定（回収率5割）

※配布数は平休の利用者数の実績から、往復分を除いた想定値として設定

7. 調査項目

表 利用者アンケートの設問項目

調査項目	把握する内容
1. 個人属性	・回答者の属性を把握 →居住地、年代、職業、利用する鉄道駅
2. ぐるっとくんの利用状況	・現状の利用状況、満足度を把握 →利用路線、利用目的・区間・頻度・時間帯・目的地・支払い方法、満足度、乗り継ぎ有無
3. ぐるっとくん再編による利用の変化	・再編による利用の変化、考え方を把握 →利用頻度の変化、便利になったかどうか、便利・不便な点
4. 今後必要と思う取り組み	・今後の運行見直しに向けての意見を把握 →バス停・所要時間・便数・支払い方法・情報案内に対する要望
自由記述	その他自由意見

市内循環バス「ぐるっとくん」利用者アンケート

議事2

いつもご利用ありがとうございます。

市内循環バス「ぐるっとくん」の利便性向上の検討に向け、ご利用の皆様のご意見をお聞かせください。

WEB回答も可能です。
二次元バーコードを
読み取りください→

二次元
コード

設問1 ご自身のことについてお伺いします。

問1-1 ご自身のお住まい、年代、職業、よく利用する鉄道駅をお答えください。

お住まい	右の欄に町丁目を記入してください。番地は不要です。 市外の方は、「市外」とご記入ください。	上尾市 _____ (記入例) 上尾市本町3丁目
	右の欄のいずれかの団地にお住まいの方は、○印を付けてください。	1. 原市団地 2. 尾山台団地 3. 西上尾第一団地 4. 西上尾第二団地
年代	1. 14歳以下 2. 15~17歳 3. 18~29歳 4. 30~39歳 5. 40~49歳 6. 50~64歳 7. 65~74歳 8. 75歳以上	
職業	1. 学生 2. 会社員・公務員・団体職員 3. 自営業 4. 農業 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他	
利用する鉄道駅	※普段、鉄道を利用される方は、よく利用する乗車駅を以下から選択ください。 1. 上尾駅 2. 北上尾駅 3. 東大宮駅 4. 原市駅 5. 沼南駅 6. 桶川駅 7. その他 (_____)	

設問2 市内循環バス「ぐるっとくん」の利用状況についてお伺いします。

問2-1 普段よく利用する市内循環バス「ぐるっとくん」の路線を1つお答えください。

1. 大石桶川線	2. 大石領家北上尾線	3. 平方丸山公園線	4. 平方小敷谷循環
5. 大谷循環	6. 上平箕の木循環	7. 上平菅谷北上尾線	8. 原市平塚循環
9. 原市瓦葺線			

問2-2 問2-1でお答えいただいた路線について、利用目的や利用区間等をお答えください。

利用目的	1. 通学 2. 通勤 3. 買い物 4. 通院 5. 他の私用
利用区間	乗車停留所 : _____ 降車停留所 : _____
利用日数	1. 週に5日以上 2. 週3~4日 3. 週1~2日 4. 月2~3回 5. 月1回程度 6. 年に数回程度
利用時間帯	行きは(午前・午後_____時台) 帰りは(午前・午後_____時台)
主な目的地	施設名 : _____ (記入例) 上尾市役所 又は住所 : _____ (記入例) 上尾市本町3丁目
支払い方法	1. 現金 2. 回数券 3. 交通系ICカード 4. QR決済 5. 無料
総合満足度	1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

問2-3 市内循環バス「ぐるっとくん」を利用する際に、他の移動手段との乗り継ぎはありますか。

当てはまる選択肢全てに○をつけてください。

1. 鉄道 (JR、ニューシャトル)	2. 民間路線バス (東武バス・朝日バス・けんちゃんバス)
3. 市内循環バス「ぐるっとくん」の他路線	4. 桶川市のコミュニティバス「べにばなGO」
5. 他の交通手段への乗り継ぎはしない	6. その他 (_____)

●市内循環バス「ぐるっとくん」について

市内循環バス「ぐるっとくん」は、お買い物や通院、また通勤・通学など市民の移動を支えるため、民間路線バスを補完するものとして、上尾駅を中心に市内を広範囲にわたり運行しています。

その中で、令和7年4月に運行見直し（路線の再編・運賃見直し）を実施しました。

市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直し後の利用状況を踏まえ、今後の利便性向上の取り組みについて、以降の設問への回答にご協力ください。

設問3 市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直しについてお伺いします。

問3-1 令和7年4月に実施した運行見直しについてお答えください。

運行見直し前後での利用頻度の変化	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. 運行見直し後に初めて利用するようになった
運行見直し後、便利になったか	1. 便利になった 2. 変わらない 3. 不便になった
便利になったと感じる点 (<u>当てはまる選択肢全てに○</u>)	1. 便数の増加 2. ルートの変更 3. 上尾駅の乗り場の変更 4. 支払い方法の追加 5. その他 (_____)
不便になったと感じる点 (自由記述)	

問3-2 今後、市内循環バス「ぐるっとくん」をより利用しやすくなるための取り組みについて、以下の取り組みの中から必要と思うものについて、当てはまる選択肢全てに○をつけてください。具体的な内容があれば、選んだ選択肢の横に内容をご記入ください。

1. 今までよい
2. バス停・目的地の追加 (内容 : _____)
3. ルートの変更による所要時間減少 (内容 : _____)
4. 運行便数の増加や時間帯拡大 (内容 : _____)
5. 支払い方法の追加 (内容 : _____)
6. バス停やHP等での情報案内の強化 (内容 : _____)
7. その他 (内容 : _____)

問3-3 ぐるっとくんの良いところやその他ご意見があればご記入ください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※WEBでご回答いただかずか、調査票を同封の返信用封筒に入れてポストに投函ください。
(どちらかの方法でご回答ください。ポストに投函いただく場合、切手は不要です)。

※回答及びポストへの投函は、誠に恐れ入りますが、●月●日(●)までにお願いいたします。

【本アンケートに関するお問い合わせ】

実施者：上尾市役所市民生活部交通防犯課 交通防犯担当 TEL：048-775-5138 (直通)

調査受託者：八千代エンジニアリング株式会社 道路・交通部 TEL：03-5822-6027 (直通)

地域公共交通計画改定に向けた市民アンケートの内容について

1. 調査目的

- 上尾市地域公共交通計画（R4.3 策定）において設定した数値目標の達成状況の評価
- 計画の策定から実施してきた各施策の評価を行う
- 現時点や将来の生活を想定した、市民の公共交通に関するニーズを把握し、今後の公共交通に関する施策検討の参考とする
- ぐるっとくん再編の評価については別途実施の利用者アンケートで行う

(参考) 計画書の数値目標のうち、市民アンケートに関わる項目（赤枠）

数値目標1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加	
H25 年度調査： 民間路線バス 7.2% 市内循環バス 1.4%	増加
R1 年度調査： 民間路線バス 9.8% 市内循環バス 3.1%	増加
R8 年度目標： 民間路線バス 12.4% 市内循環バス 4.8%	
設定の考え方	市内移動の主な手段である民間路線バス、市内循環バスの利用率より、「 <u>目標1</u> 誰もが利用しやすいネットワークの効率化と利便性の向上」の達成度を評価する
把握方法	市民アンケート調査より把握（主な外出手段として「民間路線バス」「市内循環バス」を選択する方の比率）

数値目標2 高齢者の外出回数の増加	
H25 年度調査： 65-74 歳 62.4% 75 歳以上 46.2%	横ばい
R1 年度調査： 65-74 歳 59.1% 75 歳以上 56.6%	今後の増加を目指す
設定の考え方	65 歳以上の高齢者の外出状況を把握することで、「 <u>目標2</u> 公共交通サービス向上による高齢者等の外出機会の増加」の達成度を評価する
把握方法	市民アンケート調査より把握（65-74 歳、75 歳以上の回答者のうち、外出日数が週 3 日以上の比率）

数値目標3 市民の市内循環バスの利用回数の増加	
H25 年度実績： 1 人平均利用回数： 2.03 回/年	増加
R1 年度実績： 1 人平均利用回数： 2.10 回/年	増加
R8 年度目標： 1 人平均利用回数： 2.17 回/年	
設定の考え方	市内循環バス「ぐるっとくん」の利用者数を把握することで、「 <u>目標3</u> 市内全域での公共交通サービスの向上による利用増」の達成度を評価する
把握方法	毎年度の運行実績より整理。

数値目標4 市内バスの総合的な満足度の向上	
H25 年度調査： 民間路線バス 29.8% 市内循環バス 9.4%	減少
R1 年度調査： 民間路線バス 29.7% 市内循環バス 8.5%	
R8 年度目標： 前回調査の値への回復を目指す	
設定の考え方	きめ細かな情報提供と利用促進の取組により、市内公共交通への満足度の向上が図られ、「 <u>目標4</u> 公共交通のわかりやすさの向上」「 <u>目標5</u> 市民の公共交通に対する理解の向上」「 <u>目標6</u> 関係者間および施策間の連携による地域活性化」の達成度を評価する
把握方法	市民アンケート調査より把握（民間路線バス、市内循環バスそれぞれの総合的な満足度の回答結果から、「満足」「やや満足」とする比率）

2. 調査実施内容

(1) 調査の方法

住民基本台帳より地区ごとに無作為抽出した満 15 歳以上の市民 4,000 人（外国人は除くこととする）に郵送配布・web 回答方式で実施する。各地区・団地の配布数の設定について、以下に示す。

表 市民アンケート配布数の設定

分類	地区・団地名	人口 (8/1時点)	構成比	4,000人抽出	
				配布数	回収数(回 収率40% と想定)
6地区	上尾地区	66,808	29.0%	400	160
	平方地区	7,825	3.4%	400	160
	原市地区	33,629	14.6%	400	160
	大石地区	45,425	19.7%	400	160
	上平地区	30,102	13.1%	400	160
	大谷地区	32,646	14.2%	400	160
4団地	原市団地	2,279	1.0%	400	160
	尾山台団地	2,503	1.1%	400	160
	西上尾第一団地	4,836	2.1%	400	160
	西上尾第二団地	4,445	1.9%	400	160
合計		230,498	100.0%	4,000	1600

(2) 調査項目

表 市民アンケートの設問項目

調査項目	把握する内容 ※太字は計画の数値目標に関する項目
1. 個人属性	・回答者の属性を把握 →居住地、性別、年代、職業、自動車保有状況、免許保有
2. 日常の移動・外出実態	・現状の移動発生量を把握 →行先、目的、外出の時間帯、 頻度 、交通手段
3. 公共交通の利用実態	・公共交通の利用頻度 → 市内循環バス・民間路線バス ・鉄道の利用頻度
4. 公共交通の満足度・評価	・公共交通に対する満足度を把握 → 路線バス、市内循環バス の満足度
5. 公共交通に関する近年の取り組みについて	・計画策定後の取り組みの認知度・利用状況等 →ぐるっとくん再編後の利用状況、バスロケの認知度、公共交通マップの認知度等
6. 今後の公共交通に関する取り組みについて	・困りごと及びそれに対する施策 →現在の困りごと、将来の困りごと →力を入れてほしい施策（現計画の施策+新たな施策候補）
7. タクシー活用について	・タクシーを活用した新たな交通の認知度、利用意向等 →認知度、利用意向、行きたい場所、曜日、時間帯
8. 自由記述	その他自由意見

(3) 調査スケジュール

- ・11月：調査票の修正・確定
- ・12月：調査実施（アンケートの印刷、配布、回収）
- ・1月：集計
- ・2月：アンケート調査の分析

地域公共交通活性化協議会で結果報告

上尾市公共交通計画の進捗報告について

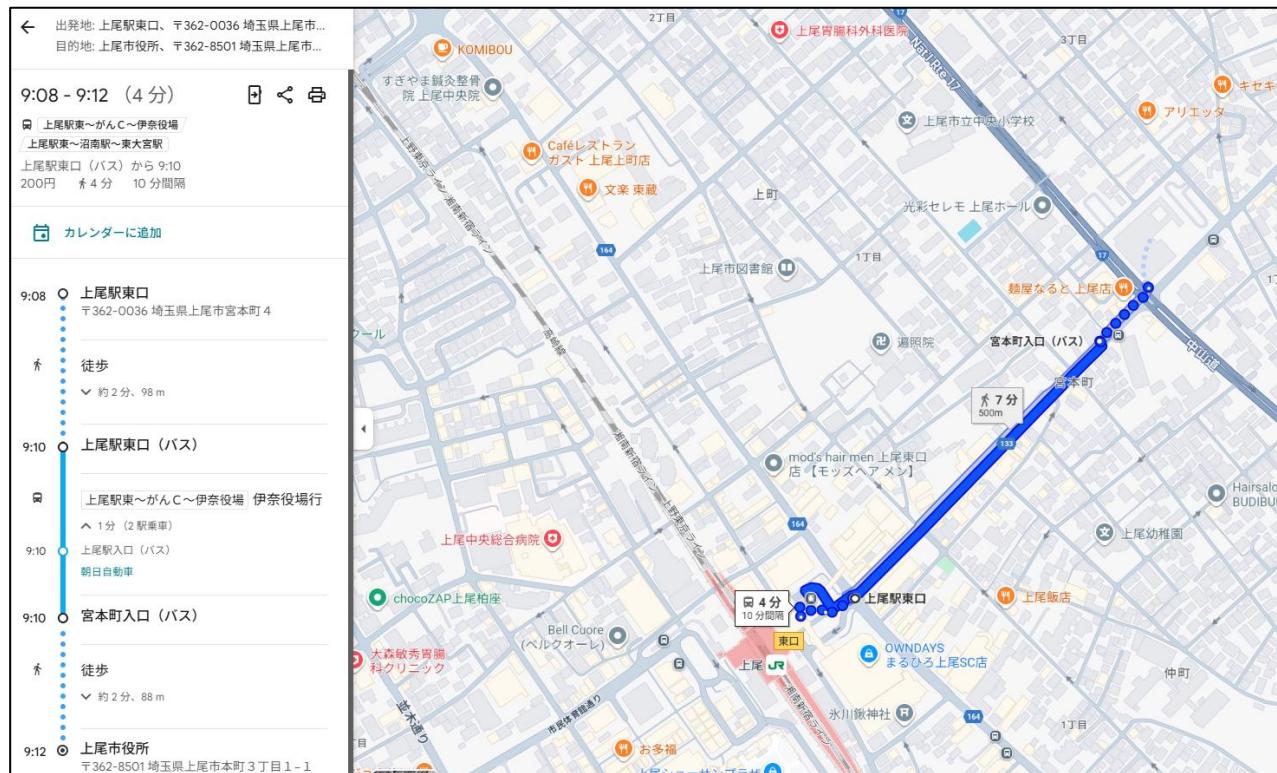
【施策1-3】バス情報の高度化

目的) バス情報のオープンデータ化を推進し、公共交通利用促進や利便性の向上、情報公開による自由な二次的利用の促進を図る

実施内容) Google Map に「ぐるっとくん」のバス停情報を掲載。Google Map 内のルート検索に「ぐるっとくん」の情報を反映させる。

進捗報告) Google とオンライン掲載の契約を締結。Google Map に掲載するため必要な、バス停留所の位置情報データおよび時刻表データの作成を、バスロケーションシステムの委託をしている、株式会社アチピレーションテクノロジーに依頼中

(イメージ図)



【施策1-6】交通不便地域における輸送資源を活用した移動手段確保の検討

目的) 市内の地域資源を最大限に活用し、既存公共交通（鉄道、民間路線バス、市内循環バス）を補完する地域交通を確保し、市内の移動性の向上に努める。

実施内容) 市内で送迎サービス等を実施されている事業者（工場やデイサービス施設等）の所有する車両を活用し、市民の足として利用できなか検討。

進捗報告) 令和7年2月に市内97事業者に対し、アンケート調査を実施。そのうち、活用について、関心をお持ちいただいた事業者が9者。

令和7年9月に、9者中6者を訪問し、内容の説明を実施。

今後、活用の可能性があるか協議と検討を継続する。

【施策4-2】タクシー車両の有効活用方法の研究

目的) 高齢者や障がい者等の交通弱者の移動手段確保のため、公共交通の一つであるタクシーの利用向上、市内全体の移動性の向上を目指す。

実施内容) タクシー車両の有効活用方法について、関係者間での情報共有、制度検討を含めた研究の実施

進捗報告) 令和7年9月に上尾地区タクシー協議会を訪問。昨今のタクシー業界の現況や、今後のタクシー施策に関するご意見を頂戴した。

今年度中に、上尾市内で営業するタクシー事業者および民間バス事業者に対して、ヒアリングを実施予定。